

第16期決算公告

東京都渋谷区元代々木町30番13号

株式会社GABA

代表取締役社長 増田 崇之

貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
[流動資産]	[10,603,964]	[流動負債]	[9,199,161]
現金及び預金	3,522,053	買掛金	14,091
売掛金	400,603	未払金	833,455
受講料金銭信託	2,822,158	未払費用	292,872
有価証券	3,501,938	未払法人税等	475,901
教材	84,206	未払消費税等	57,018
貯蔵品	19,080	前受金	7,279,632
前払費用	110,733	預り金	30,642
繰延税金資産	135,239	店舗閉鎖損失引当金	8,284
その他	7,952	賞与引当金	187,080
[固定資産]	[2,449,287]	資産除去債務	19,991
有形固定資産	709,673	その他	189
建物	640,811	[固定負債]	[301,961]
構築物	10,895	資産除去債務	301,961
工具、器具及び備品	57,966	負債合計	9,501,122
無形固定資産	113,875	(純資産の部)	
商標権	1,700	[株主資本]	[3,552,129]
ソフトウェア	103,552	資本金	490,000
ソフトウェア仮勘定	8,623	資本剰余金	40,399
投資その他の資産	1,625,738	資本準備金	40,399
投資有価証券	701,860	利益剰余金	3,021,730
長期前払費用	3,897	利益準備金	35,900
敷金及び保証金	860,864	その他利益剰余金	2,985,830
繰延税金資産	58,761	繰越利益剰余金	2,985,830
その他	355	純資産合計	3,552,129
資産合計	13,053,252	負債・純資産合計	13,053,252

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

[当期純損益金額]

当期純利益 1,433,606千円

[重要な会計方針に関わる事項]

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券	償却原価法（定額法）を採用しております。
その他有価証券	時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

(2) 受講料金銭信託の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

(3) たな卸資産の評価基準及び評価方法

教材	移動平均法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）を採用しております。
貯蔵品	最終仕入原価法を採用しております。

(4) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法を採用しております。
主な耐用年数	建物 3～15年
	構築物 10～20年
	工具、器具及び備品 2～15年
無形固定資産	定額法を採用しております。
	なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（主に5年）に基づいております。

(5) 引当金の計上基準

貸倒引当金	売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。ただし、当事業年度末において回収不能見込額がないため、残高はありません。
店舗閉鎖損失引当金	L S閉鎖に伴う原状回復費等の発生に備え、その損失見込額を引当金計上しております。
賞与引当金	従業員に対して支給する賞与に充てるため、賞与支払予定額のうち当事業年度に属する支給対象期間に見合う金額を計上しております。

(6) 収益の計上基準

受講生のレッスンポイント（受講可能レッスン数）消化により、役務提供が完了した時点で収益計上しております。また、教材は教材提供時に、入会金は契約時にそれぞれ収益として計上しております。

(7) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理	税抜方式によっております。
-----------	---------------